

令和 8 年度 第 1 回逗子市地域共生会議 全体会 議事概要

1. 開催概要

- 日時：令和 8 年 6 月 1 日（月） 午後 2 時 30 分～午後 4 時 00 分
- 場所：逗子市役所 5 階 第 3 会議室
- 目的：地域共生社会の実現に向けた全市的な課題の検討、検討課題及びワーキンググループの選定
- 出席者：25 名（アドバイザー 3 名、メンバー 14 名、事務局 8 名）

2. 主な議題と決定事項

(1) 地域共生会議の概要について

事務局より、地域包括ケア会議からの発展的再編の経緯や、個別会議体と全体会、ワーキング部会による課題解決に向けたサイクルについて説明。

1. 設立目的

従来の地域包括ケア会議では不十分だった「地域づくり・資源開発機能」と「政策形成機能」を強化し、単一分野では解決困難な複合的課題に総合的に取り組むため、全市的な課題を総合的に検討し、政策提案まで行う「地域共生会議」を新たに創設し、令和 7 年度から開催している。

2. 運営の仕組み（サイクル）

各専門分野の会議体から上がった課題を本会議で選定し、各課題のワーキング部会で具体策を検討する。本会議は施策決定権がなく、予算配分や政策採択は所管部署が行うため、ワーキング部会の段階で関係所管に参加していただく。その後、進捗をフィードバックすることで、モチベーションを維持し、成果創出につなげることを目指す。

3. 年間スケジュール

- 全体会で重点課題及びワーキンググループを選定（本会議）。
- ワーキング部会にて具体策について 3 回検討。
- 全体会で評価・フィードバック。

(2) 令和 8 年度の検討課題の選定について

提出された 4 つの課題案について検討を行い、今年度は以下の 2 課題に絞ってワーキング部会で検討を進めることが決定した。

- 決定課題 1：ゴミ屋敷問題の根本解決
 - 背景：実態把握の難しさや、対応する専門機関の不在が課題。
 - 方針：関係機関と連携した実態把握の手法や、支援体制の構築を優先的に検討する。

- **決定課題 2：高齢者の外出支援**

- 背景：公共交通の減少や、身体機能低下に伴う社会参加の機会損失が課題。
- 方針：既存ボランティア等の活用に加え、地域の実情に即した新たな移動手段や環境整備を検討する。

(3) 令和 8 年度ワーキング部会メンバーの選定について

各課題に対し、実効性のある議論を行うため、以下の体制でワーキング部会を組成することとした。

検討課題	主管・関係課および参加機関（予定）
ゴミ屋敷問題	社会福祉課、障がい福祉課、高齢介護課、3 地域包括支援センター、社会福祉協議会、基幹相談支援センター、ほか関係機関
高齢者の外出支援	高齢介護課、環境都市課、社会福祉課、3 地域包括支援センター、社会福祉協議会、ほか関係法人・機関

(4) 今後のスケジュールについて

- **ワーキング部会の開催**：各課題につき計 3 回開催。
- **第 2 回地域共生会議**：年明けに開催予定。ワーキング部会での検討結果の報告と、関係所管への解決策提案を行う。

3. アドバイザー講評（要約）

玉川アドバイザー

- 本会議の枠組みが定着しつつあることを評価。
- 複雑な課題であるため、中間段階の取り組みや進捗を共有し、関係団体が協力しやすいシステム作りを目指すことの重要性が指摘された。

田嶋アドバイザー

- 4 つの課題が整理され、優先順位が明確になったことで、具体的な議論へ向かうよいスタートとなった。

4. 今後の予定

- **ワーキング部会の開催**：年内を目途に各課題につき計 3 回開催。
- **第 2 回地域共生会議**：年明けに開催予定。ワーキング部会での検討結果の報告と、関係所管への解決策提案を行う。

5. 閉会